
経済 TOPICS

No. 239

(2025 年 1 月 17 日)

景気ウォッチング（要旨）

日本 … 輸出の回復の動きに一服感が見られるものの、消費や設備投資が緩やかに回復していることから、全体としては緩やかな回復の動きが続いている。消費者物価（除く生鮮食品）は、エネルギー価格が政府補助の縮小に伴い上昇したことなどから、前年比プラス幅が拡大している。この間、米国新大統領の政策運営、海外での軍事紛争、中国経済の低迷など、先行き不透明感の強い状態が続いている。

米国 … 生産は横這い圏内で推移しているものの、個人消費や設備投資が堅調に推移していることから、全体としても堅調に推移している。この間、雇用は雇用者数が増加するなどタイトな状態となっている。消費者物価は、エネルギー価格の前年比マイナス幅が緩やかに縮小していることから、前年比プラス幅が緩やかに拡大している。

（参考）物価動向

＜日本＞ 生鮮食品を除く食料価格が上昇傾向にあるほか、エネルギー価格が政府補助の縮小に伴い上昇したため、前年比プラス幅が拡大している。

＜米国＞ サービス価格の粘着質な上昇圧力が続くなか、エネルギー価格の前年比マイナス幅が緩やかに縮小していることから、前年比プラス幅が緩やかに拡大している。



京都フィナンシャルグループ

京都総研コンサルティング
